

事例
25
神奈川県

事務局体制の強化による、大幅な経営改革とコスト削減

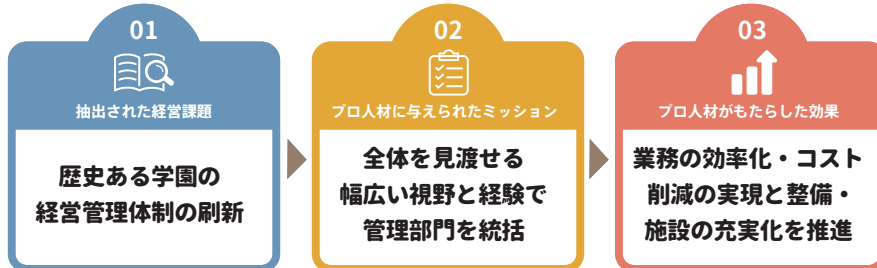
雇用契約
(フルタイム)

支援の流れ

学校法人 向上学園

高等学校及び中等教育学校の運営

所在地 神奈川県伊勢原市
創業年 1907年
従業員数 199名



01

歴史ある学園の経営管理体制の刷新

創立 110 年以上の学園で伝統を残しつつも、少子化に向けた魅力アップもしていかなければなりません。いかに生徒さんにとって「通いたい」と思える魅力的な学校にするかを考えたとき、設備や施設が安全かつ快適であってこそ魅力的な校舎、魅力的な授業になると思います。現在の校舎も 38 年経過し修繕が必要な箇所も多くなりますが、建物の規模が大きいためコスト面が懸念されました。コストを削減しその分を学校の魅力アップに繋げ、たくさんの生徒さんに来ていただけるような学校にしたいというのが現在の理事長の方針でもあり、そのための事務局の体制強化が課題でした。



広大な学校の敷地の一部が借地であり、その賃料のコスト削減も課題の 1 つでしたが、宅建資格の保有者である石井氏の知見を活かし賃料の交渉等に貢献しています。昨年完成した「向上令和グラウンド」は、グリーンの芝の輝きと、練習や試合の活気ある声の響きが、新たな学園の魅力となっています。

02

全体を見渡せる幅広い視野と経験で管理部門を統括

民間企業では当たり前のことではありますが、経費削減、働き方改革、事務効率のアップなどを総合的に見渡せる、ビジネス感覚を持ち合わせているかたを求めています。業界界には特殊かもしれませんが、毎年入学する生徒数で収入が決まってしまう。その決められた中で、支出を抑えることを意識し、さらに魅力的な学園にして行くことが収入増になります。そしてさまざまな視点から全体を見渡し、事務作業の効率化を図ること、特に教員の事務作業の手間を省き授業に専念できる環境を作りたいと考えています。

03

業務の効率化・コスト削減の実現と整備・施設の充実化を推進

同敷地内に 2 つの学校を運営しており、これまでは各学校で異なるシステムを使用するなど個別対応していましたが、システムを統合してのペーパーレス化や物品調達の一元化を図るなど、身近なところから無駄を省き効率化することで事務局機能の強化ができました。そのことにより削減できたコストを新たな取組みに活かすことができるため、本年は正門に警備員を配置しました。これまでは教職員による当番制で校内の見回りや施錠をしていましたが、外注することにより教職員の働き方改革にも繋げることができました。新しい事を始める際は反対の声もありますが、今では定着し生徒や保護者にも安心できる環境になったと喜んでいます。

プロ人材【入社時のプロフィール】



石井 崇 氏

役職名：事務次長
年 齢：55 歳
家族構成：妻、娘 2 人
出身地：東京都 還流ルート：転居なし
業務遂行手段：事務所での業務

主な経歴：生命保険会社での営業所長、総務／ビジネスホテルチェーンでの採用・研修、新規ホテル企画

コロナ禍でホテル業界の先行きが見えず将来的なことを考えていたところ求人話がありました。ホテルチェーンに勤務していた時に人材採用に携わり、大学の就職部門との関わりがあったことで、学校運営に関心をもちました。学生向けにホテル業界についての講義をする機会もあり、教職員だけでなく学生とも交流する中で親近感と興味がありました。未経験であり未知の世界でしたので、入社当初は戸惑いもありましたが、これまでの経験を活かせることにやりがいを感じています。

企業からの声



事務長 滝 秀之 氏

私自身が大企業での勤務経験を活かしプロフェッショナル人材として採用された経緯があり、学園で人材採用をする際にこの事業を活用したいと考えていました。当初は、業務全体を見渡せる能力のある方で施設や設備の維持管理に精通した方が見つければ良いと思っていたところ、宅建の資格を有する石井氏に来ていただくことができました。ホテル業界での経験から、施設管理や土地に関する交渉、契約まで全般的にお任せし、コスト削減には高い意識で取り組んでいただき非常に助かっています。また管理職の経験も活かし、30 名ほどの事務局職員を取りまとめ良きリーダーとして活躍いただいています。